

【不活化ポリオワクチン】事前予約開始

ポリオのワクチンには、生ワクチン(OPV)と不活化ワクチン(IPV)の2種類があります。生ワクチンは、ほぼ一生の高い免疫を維持することができる利点がある反面、500万人に一人の割合でポリオを発病し麻痺を起こす可能性があります。一方、不活化ワクチンは、免疫の持続期間は生ワクチンに劣りますが、麻痺を起こすことはありません。このため、ポリオの発生が少なくなった国では、順次不活化ワクチンに切り替えていっております。

ユニコの森では、より安全なワクチン接種をご希望の方のため、不活化ワクチンの事前予約を開始いたしました。

また、本人またはご家族に免疫不全の方がいてポリオ生ワクチンによる定期接種ができない方にも、不活化ワクチンは安全に接種することができます。

ただ、自費ですので国の予防接種救済制度は受ける事ができませんので自己責任で受けてください。ただ輸入業者による薬害救済制度はあります。

【WHOが勧めるポリオワクチンの移行スケジュール】

- (1) 初期段階：生ワクチンを4回以上接種する。
- (2) 移行段階：不活化ワクチンを2回、生ワクチンを2回接種する。
- (3) 完全移行：不活化ワクチンを4回接種する。

現在の日本では、定期予防接種で7歳半までに生ワクチンを2回接種しますので、初期段階の変法といえます。日本も本来なら不活化ワクチン4回接種へ移行するべき段階にきているのですが、不活化ワクチンがまだ開発中で、認可に数年かかる見込みです。

11月1日から、不活化ポリオワクチン（輸入）を開始しました。商品名：IMOVAX POLIO、メーカー：Sanofi Pasteur社 1回7000円（輸入品なので多少の価格変動あり）です。

なお、接種ご希望の方は事前にファックス（0798-69-0336）で、診察券番号（お持ちの方）、お名前、生年月日、メール番号、お電話番号、ファックス番号明記の上、クリニックへファックスをお送りください。

ワクチンは、随時入荷しておりますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

【不活化ポリオワクチンを使ったときの接種方法】

接種方法 1

- (1回目) 初回不活化ワクチン
- (2回目) 1～2ヶ月後不活化ワクチン
- (3回目) 2回目から2～6ヶ月程度 生ワクチン（定期接種）
- (4回目) 3回目から6ヶ月程度～4才頃 生ワクチン（定期接種）

接種方法 2（アメリカ方式）

- (1回目) 初回 不活化ワクチン
- (2回目) 1～2ヶ月後 不活化ワクチン
- (3回目) 2回目から6ヶ月～1年後不活化ワクチン
- (4回目) 4才過ぎ 不活化ワクチン その後、未成年のうちは5年ごと、成人は10年ごとに1回

接種方法 3（フランス方式）

- (1回目) 初回 不活化ワクチン
- (2回目) 1～2ヶ月後 不活化ワクチン
- (3回目) 1～2ヶ月後 不活化ワクチン
- (4回目) 3回目から1年以上後、2歳以上 不活化ワクチン
- (5回目) 4才過ぎに IPV
その後、未成年のうちは5年ごと、成人は10年ごとに1回

接種方式 4：過去に未接種の成人

- (1回目) 初回
- (2回目) 1～2ヶ月後（2ヶ月後が望ましい）
- (3回目) 2回目から8～12ヶ月後
その後、10年ごとに1回

S50～52年生まれの方

S50～52年生まれの方は、定期接種で2回接種していてもポリオの免疫が低い方が多いことが判明しています。お子さんや、お子さんのお友達がポリオを飲む前に1回追加することが推奨されます。

子供の時に2回接種している方は OPV を1回、または IPV を1回追加してください。子供の時に1回も接種していない方は、OPV を2回、または IPV を3回おすすめします。